

大阪城

2023
10/12 (木)
14394号

全港湾一
西成分会

2247
6647-
4947

一日、一日、秋が深まってきている。スーパードモ柿が目立つが、一つ100円、150円ぐらいする。

軒下につるした干し柿の姿など、都会では見ることもなくなってきたが、柿は身体には良いのだろう。

社会は秋になり、冬と新年を射程に入れたながら流れはじめている。10/20(金)には臨時国会が始り物価高インフレや苦しい経済生活に対する政治の役割について論議が進行する。途中、10/22(日)には

長崎と徳島・高知の2つの補欠選挙の結果も出て山田政権への一定の評価の判断材料を見ることとなる。又、近々、統一教会の解散請求を国民の80%以上の支持もあるという世論もふまえて裁判所に解散命令請求をすると報道されている。そして年内、総選挙の予想も非常に言われている。

おりしも、遠くはなれたところとはいえ、中東イスラエルでは、パレスチナのハマスという勢力がイスラエルに攻撃をくわえ、それに対してイスラエルが全面戦争でハマス勢力を壊滅する、と体制を修正している。この動きは、ロシア・ウクライナ戦争にも、連鎖しはじめるし、アメリカ主導の旧・世界秩序を土曜日からシワリと変ええるエネルギーとして作用しはじめている。

「アマゾン」配達中にけがドライバー労災認定 全国初か

ネット通販大手「アマゾン」の配達を行うフリーランスのドライバーが配達中にけがをしたことについて、労働基準監督署から労災として認定されたことがわかりました。支援する弁護士は、アマゾンの配達員が労災認定されたのは全国で初めてではないかとしています。60代のドライバーは神奈川県内でネット通販大手「アマゾン」から荷物の配送を委託された会社と契約を結び、フリーランスとして荷物の配達を行っています。去年9月、配達中に階段で足を滑らし2メートルほど下の地面に転落して腰の骨を折るなどのけがを負い、2か月間の自宅療養を余儀なくされました。

労災と認定 50日分の休業補償給付へ

これについて男性は労働基準監督署に労災の申請を行っていましたが、先月26日に労災が認定され、労災保険から50日分の休業補償が給付されることになったということです。労働基準監督署から認定理由の説明はありませんが、弁護士は、アマゾンのアプリで配達の数やルートが割り当てられ、事実上、業務を断ることができないことなどが指揮・監督を受けていると認められたとしています。弁護士などは、アマゾンの配達員が配達中の事故で労災認定されたのは全国で初めてではないかとしています。アマゾン労働者弁護団の菅俊治弁護士は「今回の決定はアマゾンの配達員の労働者性を肯定した画期的な労災認定だ。今後は全国の配達員が配達中の事故による療養や休業に対して保険給付されることになると予測され、多くの配達員が救済されることになる」と話していました。

2023年10月4日 NHK ニュース

フリーランスは国内で462万人いるとされていますが、企業などに雇用されている労働者ではないため原則として業務でけがをした時などに労災保険による補償を受けられません。ただ、フリーランス保護のため、自転車で料理などを届ける配達員やシステムエンジニアといった一部の業種は、自ら保険料を支払えば補償を受けられる特別加入制度が設けられています。2021年度末時点でこの制度に加入しているフリーランスは75万人余り、政府はこの枠を拡大するよう取り組むとしています。